

習志野市議会議員 相原かずゆき

第32号

議会報告

発行日：令和2年10月1日

討議資料

令和2年 習志野市議会 第3回
定例会が、新型コロナウイルス感染症対策を
しっかりと取りながら
令和2年9月30日まで開かれました。
対策は、議場の出席人数を半分に！
市議会議員も、半数は、委員会室で
オンラインで参加するなど
新しい市議会の運営方式を採用して
前回の定例会から実施されています。

一般質問ダイジェスト 今回は7つの項目で質問をしました。

①谷津干潟の保全事業について

自然環境

私が発議した発議案「水路の再整備を国に求める」に市議会議員全員賛成いただき、さらに宮本市長や小林代議士により水路の改善要望を環境省へ提出した経緯から環境省において平成31年3月に水路の改善工事が実施されました。今回は、その後の干潟内のアオサの発生状況及び近隣からの悪臭に関する市民からの問い合わせ状況について質問したところ現在のアオサの発生状況は、適量で、苦情などの問い合わせは受けていない状況とのことです。

②JR 津田沼駅南口 モリシア津田沼周辺の再開発について

駅前環境

「都市再開発の方針」において、2項 再開発促進地区として位置付けている「津田沼駅南口地区」

私は、これまで、市議会でこの再開発について様々な質問や要望をしてきました。習志野市は、今年度、「JR津田沼駅 南口駅前広場の基本設計業務委託」を実施しており、国有地の「津田沼緑地」についても一体的な再開発の事業化は可能と回答を得たとのことです。

また、習志野文化ホールを今後、どうするのか市長に質問をしたところ、市長は、様々な検討を重ね、習志野文化ホール再建設に係る本市の今後の方向性を条件付きではありますが、市議会で、はじめて“音楽のまち習志野”を象徴する施設としてJR津田沼駅南口地区に市民の文化活動を支える誰もが利用しやすい施設を目指し、音の響きを重視し約1,500席を維持した多目的ホールを再建設する。との回答がありました。

私から市長に対し、新たな習志野文化ホール建設の際、官民連携のメリットを最大限発揮していただきたいと要望しました。

③鷺沼地区土地区画整理事業に向けた取り組みについて

都市環境

現在の事業化に向けた取り組みの進捗状況を質問したところ、事業の施行の準備に必要な地区界測量や区画整理設計、事業計画書案の作成などについて、現在支援している。さらに、準備会において、実現性の高い土地利用計画や事業計画の案を作成することを目的に、民間事業者の豊富な経験とノウハウを活用するため、「まちづくり検討パートナー」の選定が行われ、8月9日開催の準備会の総会において、「株式会社竹中土木・野村不動産株式会社共同企業体」が選定された。とのこと。また、鷺沼小学校用地の確保に向けた進捗状況は、9月16日の教育委員会会議において下記の3点が挙げられました。

- ① 地区内に、2万平方メートル程度を確保すること。
- ② 最大限、通学路の安全が確保できる位置とすること。
- ③ 現鷺沼小学校に近い位置に確保すること。

今後も千葉県との協議など多方面から引き続きご支援いただきたいと要望しました。

④京成津田沼駅南口から国道14号線までの整備について

防犯・防災環境

今回は、ワイがや通りの道路及び歩道環境の整備について質問したところ、千葉県が策定した、「千葉県 無電柱化 推進計画」に基づき、「ワイがや通り」の約600メートル区間の無電柱化事業に取り組むとのこと。また、ワイがや通りの防犯灯設置についてもこれまで、質問をしてきましたが、平成28年度～29年度に合計9灯を設置しており、今後、防犯灯の設置についても、県と協議したいと答弁がありました。

京成津田沼駅に近いほうに関しては、場所によっては、未だ照度の足りない歩道も存在するので商店街の皆様の意向はもちろんのこと、連合町会との情報共有をはじめ、市職員による照度調査等も実施していただき、歩行空間の安全を確保できるよう、今後も取り組んでいただきたいと要望しました。

⑤習志野市の指定避難所について

防災環境

避難所を開設する際の空間レイアウトについて地域（市民）に対し、どのような啓発活動をしているのか質問をしたところ新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、やむを得ず、総合防災訓練を中止としたことなど、防災の普及啓発の機会が少なくなっていることが一つの課題と答弁がありました。

自助と共助がなければ、公助はあり得ない。危機管理課の職員だけでも良いので、何も特別なものを持たずに、避難所といわれる場所で、3日間過ごしてみるだけでも、本当に避難所で必要なものは何なのか職員の目線ではなく、被災者の目線で防災について研究してもらえれば、より多くの市民の生命を守ることにつながるものと主張しました。

また、ユーチューブなどを活用し、地域の避難所ごとに、避難所開設までの手順動画を作成をし、指定避難所の入り口にそのURLやQRコードを掲示することも検討してもらいたいと要望しました。

⑥特別支援学校の設置に向けた取り組みについて

教育環境

千葉県との協議の進捗状況を質問したところ、県立習志野特別支援学校の小学部から、中学部、高等部へと連続して学ぶことができる教育環境の整備は、必要であると認識していることから、引き続き、県教育委員会との協議を進めていくと答弁でした。

習志野市において切れ目のないやさしさでつながるまちを実現するには、特別支援学校の中等部と高等部の導入が必要不可欠だと要望し、習志野市に特別支援学校の中学部と高等部が設置されるまで一般質問は続けると発言しました。

⑦新しい生活様式の学校教育について

教育環境

児童生徒の体力の向上について運動会の開催（実施）について教育委員会は、どのように考えているのか質問したところ、運動会は、児童生徒の体力の向上や運動に親しむ態度の育成、友達と協力して一つのことをやり遂げることの喜びや大切さを学ぶことを目的とした重要な学校行事であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでの様な形で運動会を実施することは難しいものの、対策を講じた形で実施できるよう、教育委員会と学校で確認しながら準備を進めているとのこと。また、教育委員会は、感染症対策について情報を集め、学校に情報提供を行うなど、運動会が実施できるよう支援しているとの答弁でした。

見て！聞いて！話し合う政治 全力で環境整備に取り組んでいます。



お問合せは

習志野市議会議員 相原かずゆき

相原和幸事務所 〒275-0014 習志野市鷺沼1-11-14

●TEL: 090 - 2478 - 7979

●G-mail: aihara1971@gmail.com

●FAX: 047 - 453 - 2918

●http://aihara1002.com/

ホームページ



G-mail

